

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [ロバート・オウエンの思想③](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

### ロバート・オウエンの思想③

人間は環境の産物であるというオウエンの「性格形成論」は、産業革命期の工場人としての経験にもとづいていたといえる。

律義で道徳的な労働者から身を立てた企業人が、経済的にも道徳的にも窮乏を強いられたまじめな労働者と日々面接するという経験にもとづいたといってもいいだろう。

当時は賃金労働者の大量速成のための教育法が流行していたが、オウエンはたんなる知識と技術の詰め込みではなくて、新しい社会共同体を支える性格の形成こそが教育の王道であると考えた。

そして、このような性格形成論には「宗教」と「営利主義」という大敵がいると論じた。

人間の罪とそれに対する個人的責任を追究する宗教、営利のために他人を出し抜こうとする競争主義、客観的にいえば資本主義的社会制度と闘っていくことが必要だと考えた。

労働者の貧困と悪習と無能は労働者の個人の責任ではなく、それは人間性に対する無知にもとづく社会制度の生み出したものにほかならない、と考えたのである。

彼の教育論は、ナポレオン戦争後、英国を襲った恐慌を契機にして、より積極的になり、「協同組合村」の提唱になる。

彼の考えた村では、資本家や資本的利潤は存在の余地がない。

全員は共同で働き、共同で労働の成果を利用する。

このような社会制度のなかで、人間の性格も人間の自然に合致したものに成長し、教育の本来の意味も発揮されるとした。

オウエンの考えた社会主義が国家や教会に信用されなかったのは当然のこと。

ことに宗教否認の唯物論的思考はいっさいの権力層から異端視された。

彼の企業統治と労働者教育も挫折し、オウエンは企業家としての地位を捨てる。

そして新天地を求めてアメリカにわたり、インディアナ州にニュー・ハーモニア村をつくるが、その経営に失敗して3年後に英国に帰国する。

帰国したオウエンは、労働運動を指導することとなる。

オウエンの思想に共鳴する運動家とともに、労働組合と協同村思想とを結合する活動を始めた。

しかし組合運動に対する支配階級の弾圧は激しさを増すばかりであるし、多くの組合員や指導者たちは日常的要求の狭い枠に閉じ込められた運動から飛び出すことはできなかった。

オウエンは組合運動に対する期待をうしなっていく。

協同組合村運動はその後もオウエン思想を理念として続けられるが、いずれも富裕者と労働者の不一致とか財政難のために失敗している。

87歳まで生きた晩年のオウエンは、合理的宗教の説教者にとどまり、心靈術の信者にもなっていたという。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

### Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🗺️ サイトマップ   📄 このサイトについて   🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.